

## 『臨床検査専門医が教える 異常値の読み方が身につく本』訂正のお知らせ

ご購入いただきました『臨床検査専門医が教える 異常値の読み方が身につく本』(2018年2月発行 第1刷、第2刷、第3刷、第4刷、第5刷、第6刷、第7刷)におきまして、以下の図が無断転載となっております。ここに訂正を明記させていただきますとともに、ご迷惑をお掛けいたしました著者の先生方、ならびに株式会社日本医事新報社に深くお詫び申し上げます。

2020年4月24日

### 【正誤表】

頁	該当箇所	出典
29頁	図2 末梢血にみられる白血球	〔画像は押味和夫：第7章 血液・免疫. カラー図解 人体の正常構造と機能【全10巻縮刷版】第3版（坂井建雄，他・総編集），日本医事新報社，p483，2017より転載〕
62頁	図1 血栓の一部	〔Steve Gschmeissner/Science Photo Libraryより転載〕
63頁	図2 凝固系と線溶系	〔山本一彦，他：第7章 血液・免疫. カラー図解 人体の正常構造と機能【全10巻縮刷版】第3版（坂井建雄，他・総編集），日本医事新報社，p501，2017より一部改変〕
89頁	図1 血糖値の調節メカニズム	〔泉井 亮，他：第4章 肝・胆・膵. カラー図解 人体の正常構造と機能【全10巻縮刷版】第3版（坂井建雄，他・総編集），日本医事新報社，p316，2017より一部改変〕
197頁	図4 ビリルビン代謝	〔山本一彦，他：第7章 血液・免疫. カラー図解 人体の正常構造と機能【全10巻縮刷版】第3版（坂井建雄，他・総編集），日本医事新報社，p492，2017より一部改変〕
256頁	図1 心筋の収縮蛋白	〔画像は坂井建雄：第2章 循環器. カラー図解 人体の正常構造と機能【全10巻縮刷版】第3版（坂井建雄，他・総編集），日本医事新報社，p106，2017より転載〕

「臨床検査専門医が教える 異常値の読み方が身につく本」訂正のお知らせ

ご購入いただきました『臨床検査専門医が教える 異常値の読み方が身につく本』(2018年2月発行 第1刷、第2刷、第3刷、第4刷、第5刷)におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2019年4月11日

正誤表

頁		誤	正
80頁	14行目	本症例では、 $7.8 + (4 - 1.90) \times 0.8 = 7.8 + 1.68 = 9.9$ (mg/dL) ということにな	本症例では、 $7.8 + (4 - 1.90) = 7.8 + 2.1 = 9.9$ (mg/dL) ということにな

「臨床検査専門医が教える 異常値の読み方が身につく本」訂正のお知らせ

ご購入いただきました「臨床検査専門医が教える 異常値の読み方が身につく本」(2018年2月発行 第1刷、第2刷、第3刷)におきまして、以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

2018年10月15日

【正誤表】

頁	訂正箇所	誤	正
10	本文3～4行目 (検査後確率(陽性予測値)の 計算式内)	$\dots \times (1 - \text{感度})$	$\dots \times (1 - \text{特異度})$
173	本文7行目	$\dots$ 免疫グロブリン <u>2mg</u> /kg/日	$\dots$ 免疫グロブリン <u>2g</u> /kg/日